

**理 念**

21 世紀は環境と食の世紀といわれています。農業は環境と食を守る旗手です。農業を通して、美しい郷土、きれいな日本、そして地球環境保全に努め、循環型社会形成のために貢献することが松山株式会社の使命です。

国蝶「おおむらさき」の生息している、美しい自然を起点として、地域、長野県、日本、地球規模で求められている環境対策に貢献します。

**環境方針****■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。**

資源の有効活用・環境負荷の軽減・低燃費・減肥料栽培体系など、環境にやさしい農業を支援する作業機を開発します。

**■地球温暖化を防ぐための施策をおこないます。**

電力、上水道、ガス、灯油の使用量を削減し、二酸化炭素の排出を抑制し、省エネルギーに努めます。

製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。

雨水の活用を図り、上水道の使用量を削減します。

**■リサイクルや使用抑制を図り、限りある資源を大切に使います。**

紙の分別をおこない、再資源化を図ります。

再生紙の使用を徹底します。

紙の使用量を削減します。

古着・古毛布を集め、再利用をします。

**■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。****■グリーン購入を進めます。****■広大な社有林の管理に努めます。**

農薬の使用場所を限定し、社有林内では使わない。

間伐を計画的におこない、遊歩道を整備し里山を地域に開放します。

松くい虫の被害を環境にやさしい施策「樹幹注入」で防ぎ、後世に赤松林を残します。

「おおむらさき」の保全をおこない、観察会等を実施し地域に公開します。

**■法を守ります。**

環境関連法規や地域条例を遵守し、地域社会の環境保全に寄与します。

**■化学物質を適正に管理します。**

松山株式会社は、以上の方針に基づいて社員全員で活動します。

2013 年 1 月 1 日改訂

2004 年 11 月 15 日制定

松山株式会社

取締役社長 松山 信久

## 改訂履歴

- 2007年1月1日 ■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。・・・追加  
■調整池の水質を浄化し富養化をふせぎます。・・・追加
- 2008年1月1日 ■グリーン購入を進めます。・・・追加
- 2011年1月1日 ■化学物質を適正に管理します。・・・追加
- 2012年1月1日 製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。・・・追加
- 2013年1月1日 制定者の社名から“本社工場”を削除した。

## 事業の概要

### ① 事業者名および代表者名

松山株式会社 代表取締役社長 松山 信久

### ② 所在地

本 社 長野県上田市塩川 5155  
物流センター 長野県上田市塩川 2949  
北海道営業所 北海道岩見沢市栗沢町由良 194-5  
旭川出張所 北海道旭川市永山北 1 条 8 丁目 32  
帯広出張所 北海道河西郡芽室町東芽室北 1 線 18 番 10  
東北営業所 宮城県大崎市古川清水 3 丁目石田 24 番 11  
関東営業所 栃木県栃木市大平町横堀みずほ 5-3  
長野営業所 長野県上田市塩川 2949  
岡山営業所 岡山県津山市綾部 1764-2  
九州営業所 熊本県宇土市松山町 1134-10  
南九州出張所 宮崎県都城市甲斐元町 3389-1

### ③ 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

責任者 総務部長 小崎 浩  
担当者 総務部総務課係長 森 史彦  
連絡先 TEL 0268-42-7500  
FAX 0268-42-7520

### ④ 事業の内容

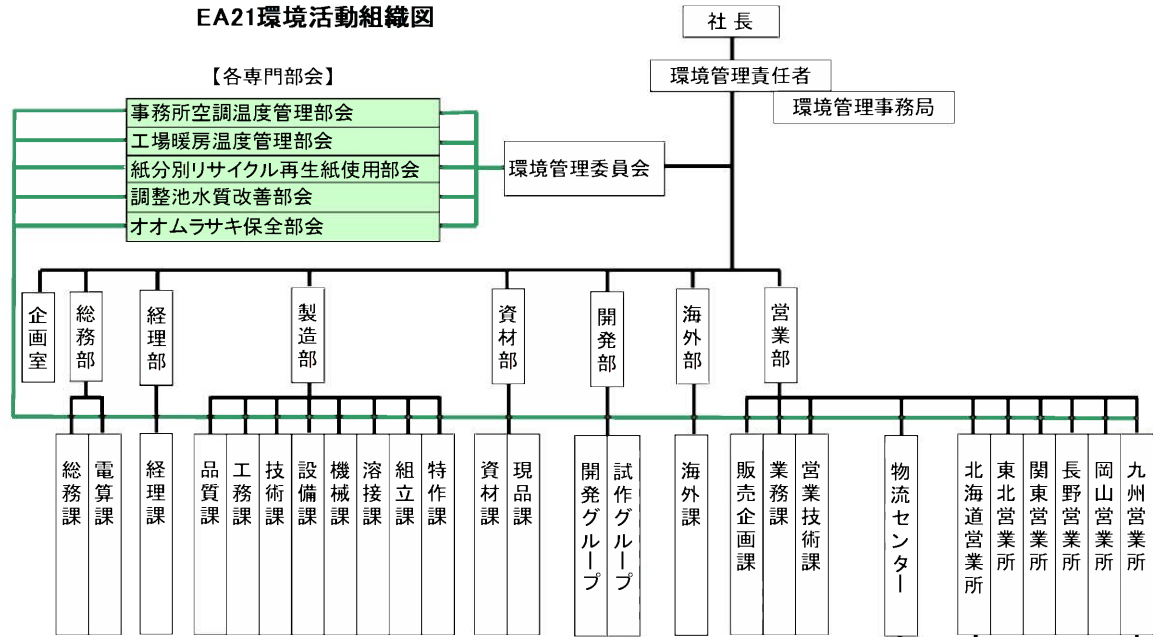
農業機械の開発、設計、製造、販売

### ⑤ 事業の規模

製品出荷額 188 億円  
全従業員数 315 名  
EA21 対象人数 315 名  
本社工場延べ床面積 19,966 m<sup>2</sup>  
北海道営業所 1,638 m<sup>2</sup>、旭川出張所 977 m<sup>2</sup>、帯広出張所 420 m<sup>2</sup>、  
東北営業所 3,861 m<sup>2</sup>、関東営業所 1,576 m<sup>2</sup>、長野営業所・物流センター 4,391 m<sup>2</sup>、  
岡山営業所 865 m<sup>2</sup>、九州営業所 5,387 m<sup>2</sup>、南九州出張所 584 m<sup>2</sup>

# EA21 推進体制

## EA21環境活動組織図



環境管理委員会：理念、環境方針、環境目標の策定を行う  
 委員長：環境活動の代表をする  
 副委員長：現場管理責任者を務め委員長を補佐する  
 統括：環境管理委員会で決定された事項について組織内での円滑な活動を指導する  
 部門長：決定事項について部門内での円滑な活動を指導する  
 営業所、出張所長：決定事項について営業所、出張所内での円滑な活動を指導する  
 事務局：環境管理委員会の事務を行う  
 環境管理委員会専門部会：環境管理委員会で決定された計画を実施する

### 環境管理委員会

委員長	取締役社長 松山 信久
副委員長	総務部長 小崎 浩

事務局	総務課長 清水 信男
	総務課係長 森 史彦
	総務課 岩瀬 吉輝

統括	専務取締役 清水 英一
総務部	総務部長 小崎 浩
資材部	資材部長 田中 計宏
海外・営業部	取締役営業部長兼海外部長 山下 祐二
開発部	取締役開発部長 村山 生夫
経理部	取締役経理部長 大池 賢治
製造部	製造部長 徳武 雅彦

### 環境管理委員会専門部会

部会名	事務所空調温度管理部会
部会長	総務部長 小崎 浩
部会名	工場暖房温度管理部会
部会長	機械課長兼特作課長 田中 栄治
部会名	紙分別リサイクル再生紙使用部会
部会長	工務課係長 佐藤 友治

部会名	調整池水質改善部会
部会長	設備課長 北村 正彦
部会名	オオムラサキ保全部会
部会長	組立課係長補佐 山浦 淳一

## 活動対象範囲

- ① 対象組織 本社工場、全営業所、全出張所、物流センター（全組織）  
 ② レポートの対象期間 2014年1月1日～2014年12月31日

## 実績（全組織）

### 環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単 位	2014年度 目 標	2014年度 実 績	2013年度 実 績	2012年度 実 績
二酸化炭素排出量 の削減	電気使用量	kwh	2,334,442	2243455	2,421,362	2,362,577
		前年比	3.6%削減	-7%	2%	-
	ガス使用量	t	302	309.37	309	303
		前年比	2.2%削減	0%	2%	-
	灯油使用量	kl	97.8	102.83	101	104.6
		前年比	3.1%削減	2%	-3%	-
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	設定無	2486524	2,581,910	2,527,601
		前年比	—	-4%	2%	-
廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量	kg	5416	5036.8	5,416	5,066
		前年比	維持	-7%	7%	-
	鉄粹回収量	t	553	537	553	464
		前年比	維持	-3%	19%	-
総排水量の削減	上水道使用量	t	13,189	13820	15,359	13,443
		前年比	14%削減	-10%	14%	-
化学物質(PRTR 制 度対象物質)の適正 管理	エチルベンゼン取扱 量	kg	5,628	4,654	5,628	5,250
		前年比	維持	-17%	7%	-
	キシレン取扱量	kg	10,556	8,382	10,556	9,612
		前年比	維持	-21%	10%	-
	トルエン取扱量	kg	1,550	1,239	1,550	1,499
		前年比	維持	-20%	3%	-

## 環境目標とその実績（本社工場）

当社は以下に記載の目標を掲げて環境活動に取り組んできました。

### 主要な環境目標と環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単位	2014 年度		2013 年度	2012 年度
			目標	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量の削減	電力(購入)使用量	kwh	2,043,523	1,973,327	2,128,670	2,053,493
		前年比	4% 削減	-7.3%	2.7%	-5%
	ガス使用量	t	292	299	298	276
		前年比	2% 削減	0.3%	2.5%	-5.2%
	灯油使用量	t	69	73.4	70.6	76.6
		前年比	2% 削減	4%	-14.3%	-3%
	ガソリン使用量	ℓ	37,118	36,184	37,876	—
		前年比	2% 削減	-4.5%	—	—
軽油使用量	ℓ	41,017	38,133	41,854	—	
	前年比	2% 削減	-8.9%	—	—	
二酸化炭素排出量	(排出係数 0.455 kg-CO <sub>2</sub> /Kwh: 中部電力 H20 年)	kg-CO <sub>2</sub>	—	2,181,272	2,256,907	2,181,964
		前年比	—	-3.4%	0.7%	-3.9%
廃棄物排出量の削減	燃やすしかないゴミの焼却量*	kg	7,170	6,810	7,170	6,110
		前年比	維持	-5%	0.1%	-0.7%
	紙(帳票)使用量	kg	280	280	280	280
		前年比	維持	0%	0%	0%
	紙(コピー用紙)使用量	kg	3,170	2,842	3,170	3,093
		前年比	維持	-10%	5.4%	-1.8%
	ウエス購入量	kg	897	900	915	1,065
		前年比	2% 削減	-1.6%	-12.9%	9.2%
鉄粹回収量	t	553	537	553	464	
	前年比	維持	-3%	19%	—	
総排水量の削減	上水道使用量	t	11,649	11,858	11,887	11,007
		前年比	2% 削減	-0.2%	3.9%	5%
化学物質 (PRTR 制度対象物質)の適正管理	エチルベンゼン取扱量	kg	5,628	4,654	5,628	5,548
		前年比	維持	-17%	7.2%	-4.6%
	キシレン取扱量	kg	10,556	8,382	10,556	9,728
		前年比	維持	-21%	9.8%	-4.1%
	トルエン取扱量	kg	1,550	1,239	1,550	1,505
		前年比	維持	-20%	3.4%	0.9%

\*長野営業所、及び物流センターの排出量込

2014年環境活動計画の内容と取組結果の評価(本社工場)

推進項目	主要な活動計画の内容	取組み結果	担当部門
環境保全型農業の支援	1 資源の有効活用	施肥や播種量をトラクタの車速に合わせて自動的に調節し、肥料や種子の無駄を防ぐ車速連動システムについて関連作業機へ搭載を研究している。	開発部
	2 廃棄物排出量の削減	製品を置く鉄枠について出来る限り回収を行い、再利用に努めている。	営業部
	3 低燃費(CO <sub>2</sub> 排出量削減)①	水田秋耕うんを中心にした牽引式の高速・省エネ作業機ニプロスピードカルチについて中型トラクタ用APCシリーズを製品化した。 	開発部
	4 低燃費(CO <sub>2</sub> 排出量削減)②	中型小型トラクタ用の浅耕ロータリー(サーフロータリー)TBSを製品化した。浅く起こすことで広幅高速耕うんを可能とし、スピードカルチで荒起こした後、使用することにより省エネ体系を実現した。	開発部
	5 除染作業機の製品化	重機の入っていけない牧草地について簡易除染作業を行う無線傾斜地トラクタ用ロータリーCGR1610Mを製品化した。	開発部
【評価】スピードカルチとサーフロータリーを”速耕プレミアムコンビ”としてお客様に提案をしている。新しい省エネ作業体系として確立を目指していく。			
二酸化炭素排出量の削減	1 省エネパトロールの実施	4回実施し、不必要な電気の消灯、使用していない機械の電源オフ、整理整頓等の指導をした。	製造部
	2 デマンド管理	デマンド装置を設置して夏季ピーク時間調整契約電力(通常時の80%)を越えそうな時は警報が鳴り、決められた機器・電気類を停止した。	
	3 電灯のLED化	事務所内及び工場の一部の照明をLEDにしている。	総務部
	4 再生可能エネルギーの利用	太陽光発電システム(100kw)を導入し、本社・工場にて使用している。	総務部
	5 ライトダウンキャンペーンに参加	全国地球温暖化防止活動推進センターのキャンペーン'CO2削減/ライトダウンキャンペーン'に参加した。6月20日、7月7日をノー残業デーとし、6月22日は家庭でライトダウンを行った。	
	【評価】前年比7.3%の減少。昨年の9月には夏季ピーク時間調整契約電力(通常時の80%)を越えてしまったが、今回はより注意を払い7~9月全て契約電力内で抑える事が出来た。		
1 温度管理に対する意識高揚	オリジナルポスター(4種類ずつ)を作成し、事務所内に掲示を行い社員にクールビズ・ウォームビズを呼びかけた。		管理 事務所 会 空調 温度



ガス及び灯油使用量の削減(前年比2%減)	2送風機の活用	会議室、営業部にて暖かい空気が循環するように送風機を併用した。	
	3ガス使用量の把握	事務所内エアコン用ガスの使用量を調べ活動の基礎データにした。	
	【評価】ガス0.3%の増加。事務所のGHPエアコン用のガス使用量はほぼ昨年並み為、工場の塗装乾燥用に使用しているガスの使用量もほぼ変わりわなかったと考えられる。		
	1温度管理表の運用	工場内暖房使用基準について温度管理表に従い実施した。	工場暖房温度管理部会
	2温度データの把握	工場各職場の温度データを取り、活動の基礎データとした。	
	3シートシャッターの活用	冬場はインターロック機構を設定し、手前のシャッターが閉じなければ奥のシャッターが開かない様にしている。	製造部
	【評価】灯油4%の増加。前年が大きく下がった分、本年は増加してしまった。		
ガソリン及び軽油の使用量削減(前年比2%削減)	1安全運転の推進	交通安全運動の呼びかけ、運転記録証明により該当者への指導、安全職場への表彰等啓発活動を行った。	総務部
	2安全講和の実施	労働衛生週間の行事の一環として、警察署の方に「犯罪被害・交通事故防止のために」という演題でお話をして頂いた。	総務部
	【評価】ガソリンが4.5%、軽油が8.9%と共に削減となった。安全運転を第一とし、交通事故削減はもとより燃費向上にもつなげて行く。		
燃やすしかないゴミの削減(前年以下)	1紙分別を行う	業者の基準に従い紙の分別をし、再生可能な物は業者の再生工場へ回して貰った。	サ 紙 部 イ 分 会 ク 別 ル リ
	2ゴミゼロ運動に参加	社員32名にて周辺公共道路のゴミ拾いを行った。 (5月30日)	総務部
	3牛乳パックから牛乳ビンへ変更	昼食時に支給している牛乳について紙パックからリユースが可能なビンの牛乳へ変更をした。	
	【評価】5%の削減。生産量が下がったので、それに連動したと思われる。		
廃棄物の削減	1必要部数だけの出力、裏紙の再利用	裏紙用プリンターと両面用プリンターを分けて、必要に応じた使い分けをしている。	各 部 所
	2複合機の活用	印刷機能とファックスを兼ね備えた複合機を使用しており、ファックスはデータとして蓄積される為、必要な物のみを紙に印刷をしている。	
	3iPADの活用	営業所員にiPADを貸与し、一時的に製品カタログを見たいだけのお客様にはiPAD上でお見せしている。	営 業 所
	【評価】重量で10%の削減。枚数で7%の削減となった。紙の効率的な使用についてはある程度定着してきた様に思える。		





	ウエス購入量の削減(前年比2%減)	1古着の再利用	家庭で不要になった衣類を集めウエスとして再利用をしている。	総務部
		【評価】1.6%の削減。定期的呼びかけを行い、不要衣類の再利用化を進めていきたい。		
調整池富栄養化防止		1水質検査	定期的に実施している。	製造部
		【評価】富栄養化は工場排水に原因がある場合が多いと言われている。水質検査の数値を分析し、防止につなげていきたい。		
総排水量の削減	上水道量の削減(前年比2%減)	1雨水利用	1,000ℓタンク2ヶの雨水を利用して植栽の水やりに用いた。	総務部
		2漏水チェック	休日等社内に人がいない状況を見計らって、水道メーターが動いていないのを確認した。	
		【評価】0.2%の削減。ほぼ昨年並みであった為、高止まりの様相を呈している。全員が日常的に使用しているので、意識を変えていく事を考えたい。		
グリーン購入の推進		1エコマーク・再生材商品の購入推進	エコマーク商品・グリーン購入法適合商品を優先して購入している。	総務部
		【評価】近年、購入対象商品の多くが環境に配慮した物なので、それ程気を遣わなくて良くなってきている。		
社有林管理		1伐採木の活用	伐採した松くい虫被害木を用いて、木工作家に椅子やテーブルを作成して貰っている。また状態の悪いものは暖房として薪ストーブで燃やした。	総務部
		2松枯れ防止樹幹注入施工	59本の松に薬剤を注入した。	
		3枯木の伐採	遊歩道沿いの枯アカマツや中折れのコナラの処理を行った。	
		4遊歩道の整備	オオムラサキ観蝶会の前に社員有志にて遊歩道に木材チップを敷き直した。	
		【評価】社有林の管理について識者から良い評価を頂いている。今後とも里山として適度に手を入れていきたい。		
		1肥培管理の実施	植栽したエノキ、キハダ、ブツレアに肥料を施した。	オオムラサキ保全部会
		2羽化個体数の調査	7月の1ヶ月間敷地内にてオオムラサキの個体数調査を実施した。	
		3「エノキ」の実生の調査	社員有志にて社有林内の実生(みしょう)のエノキや残したいクヌギ、コナラに目印のポールを立てた。併せてエノキに絡みついたツル草を刈り取った。(7月と9月に実施)	



国蝶「オオムラサキ」の 生育環境保全 (乱舞を夢見て)	4観蝶会の実施	第8回オオムラサキ 観蝶会を7月19日に 実施をし周辺住民 143名が来社した。 	総務部
	5上田創造館主催おおむらさ き観察会の協力	”おもしろ科学少年団”の イベントでオオムラサキ 観察会が7月12日に 催され社有林を会場 として提供した。 	
	【評価】観蝶会は恒例行事として近隣住民中心に認知され始めてきた。その為か今回上田創造館より会場提供のお願いがあった。今後とも協力依頼があれば検討していきたい。		
環境上の緊急事態への 準備および対応	1複合防災訓練の実施	地震・火災時の避難 訓練、消火訓練と環 境負荷の災害を想定 して防災訓練を10月 15日実施した。環境 負荷災害訓練は「灯 油・オイル・廃油 ・薬品の漏洩」、「塗 料庫からの出火」を想定し、対応方法の検討を 行った。 	総務部
	2営業所・出張所の災害時電 源確保の対応	災害時におけるコンピューター関係の電源確保の為、全ての営業所と出張所に非常用電源を設置した。	
	3営業所災害時対応備蓄物 資の準備	当社では東北営業所、関東営業所が地震の懸念される地域の為、2営業所について発生直後から3日間は営業所で対応できるように物資の備蓄を行った。	
	4AEDの設置	長野営業所・物流センターにAEDを設置した。	
	5消火器の更新	規格が変更したことをふまえ、15本更新をした。	
	【評価】大地震が警戒されている営業所について災害時対応として発生直後から救援物資の調達や運搬の為に本社、及び近くの営業所が3日以内に各種物資が届けられるように体制を組んだ。		
1小学生への環境活動の紹 介	工場見学に訪れた 小学生に対してオオ ムラサキの保護や 社有林の管理等、 環境保全活動につ いて説明をした。また 天気の良い日には遊 歩道に案内をして里山体験をしてもらった。 	総務部	
	2キッズISOプログラム事業 への協力		ワークブックを児童に配布し、環境プログラムを実践させる長野県「キッズISOプログラム事業」に引き続き協力をした。

団体への支援	3緑の募金へ協力	長野県「緑の募金」運動に協力をした。	
	4「環境月間」へ協力	6月は環境月間のキャンペーンについて日経長野版を通して協力をした。	
	5社会見学 上田市エリア版協賛	郷土の産業を紹介する小冊子の作成に協力をした。小冊子は上田地域の小学生に配布されるとの事。	
	【評価】7校の小学校が来社して、合計411人の小学生が工場見学を行った。他の小学校から話を聞いて今回初めて来社した小学校もあり、学校側から一定の評価を得ているのではないと思われる。		
化学物質（PRTR制度対象物質）の適正管理（前年以下）	1化学物質の適正管理	化学物質は主に塗装関係に使用しているが、作業者の安全と無駄な使用が無い様に注意している。	製造部
	【評価】エチルベンゼン17%削減、キシレン21%削減、トルエン20%削減となった。生産の減に伴うと思われる。		

## 今年以降の目標（本社工場）

2014年度も引続き「環境保全型農業」を支援する作業機の開発を行います。

電力、上下水道、ガス・灯油、ガソリン・軽油使用量の削減を図り限りある資源を大切に使用します。「燃やすしかないゴミ」の焼却量を増やさないようにします。ウエス購入量を削減します。紙を大切に使用します。製品を置いている鉄枠について出来る限り回収を行い再利用に努めます。

国蝶「オオムラサキ」の生息は自然環境と深く結びついています。社有林の手入れを学び、四季折々地域に公開できる里山として育成を図ります。

人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質について、適正に管理していることを定期的に確認します。

グリーン購入を進めます。

各削減目標は昨年度の目標と実績を考慮し次の通りとします。

### 2015年度以降の目標値(前年比) 年間(1~12月)

	2015年度	2016年度	2017年度
電力使用量 (kwh/年)	維持	維持	維持
ガス使用量 (t/年)	2%減	維持	維持
灯油使用量 (kl/年)	維持	維持	維持
燃やすしかないゴミの焼却量 (kg/年)	維持	維持	維持
紙(帳票)使用量 (kg/年)	維持	維持	維持
紙(コピー用紙)使用量 (kg/年)	維持	維持	維持
ウエス購入量 (kg/年)	2%減	2%減	2%減
上水道使用量 (t/年)	2%減	2%減	2%減
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	維持	維持	維持
キシレン(kg/年)	維持	維持	維持
トルエン(kg/年)	維持	維持	維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		
ガソリン使用量(l/年)	2%減	2%減	維持
軽油使用量(l/年)	2%減	2%減	維持
鉄枠回収量(t)	維持	維持	維持

## 2015年度の取組内容（本社工場）

2015年度は以下の取組内容にて活動を行います。

項 目	取 組 内 容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、デマンド管理、太陽光発電の利用
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施
灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしかないゴミの焼却量	紙分別の徹底、分別実態の調査
紙（帳票）使用量	必要なもののみ出力
紙（コピー用紙）使用量	必要なもの（部数）のみ出力、裏紙の再利用
ウエス購入量	家庭用古着の再利用
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計
ガソリン・軽油の使用量	安全運転の推進
鉄枠回収量	積極的に回収を行う

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2014年度環境関連法規の順守評価

No	法規制等の名称	要 求 事 項	順守評価
1	大気汚染防止法	VOC濃度測定	○
2	水質汚濁防止法	排出水の汚染状態の測定	○
3	浄化槽法	法定検査、点検、水質検査	○
4	廃棄物処理法	マニフェスト、契約書、保管基準、報告書の提出	○
5	PRTR法	排出量等の把握、届出	○
6	省エネルギー法	年間エネルギー量の算定	対象外
7	消防法	危険物保管、地下タンク点検	○
8	高圧ガス保安法	保安検査	○
9	自動車 Nox・PM法	粒子状物質の排出基準、大阪府流入車規制	○
10	RoHS指令	有害6物質の使用禁止	○
11	毒物及び劇物取締法	業務上取扱者規定	○
12	道路交通法	安全運転、運転日報、積載量	○
13	道路法	荷崩れ防止の為の固定ベルト使用	○
14	道路運送車両法	定期点検整備	○

関係機関や地域周辺等から特に指摘はありませんでした。訴訟等も同様です。

2014年環境活動内容と評価及び今年以降の目標（営業所、出張所、物流センター）

- 北海道営業所
- 旭川出張所
- 帯広出張所
  
- 東北営業所
  
- 関東営業所
  
- 長野営業所、物流センター（同一建物）
  
- 岡山営業所
  
- 九州営業所
- 南九州出張所

以上の順で次頁より

平成26年度 北海道営業所 環境活動報告

作成日： 4月7日  
作成者： 小川原

平26年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	26年目標	25年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	3,688	3,505	3,693	3,083	3,572	2,420	2,370	2,475	2,537	2,263	3,026	3,074	35,706	45,000	45,383	78.7%
昨年使用実績	5,523	5,421	5,300	4,765	5,242	3,090	2,888	2,412	2,699	1,894	2,886	3,263	45,383			
水道(m <sup>3</sup> )		10		10		23		23		19		17	102	200	234	43.6%
昨年使用実績		21		14		28		70		82		19	234			
LPG(m <sup>3</sup> )	0.7	0.8	0.4	0.8	0.7	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	7.0	10.5	11.0	63.6%
昨年使用実績	0.8	0.8	0.9	1.0	1.0	0.9	1.0	0.7	1.1	1.0	1.0	0.8	11.0			
灯油(ℓ)	584	686	686	667						781	665	478	4,547	5,200	5,429	83.8%
昨年使用実績	968	527	766	580	580				570		484	954	5,429			
コピー用紙 計(kg)	0	40	51	5	90	0	0	0	65	0	40	0	292		272	107.2%
コピー用紙A3(枚)			1,000						1,500				2,500			
コピー用紙A4(枚)		5,000	5,000		10,000				5,000		5,000		30,000			
コピー用紙B4(枚)													0			
コピー用紙B5(枚)			500	1,500					5,000				7,000			
コピー用紙A5(枚)			1,500		5,000								6,500			
コピー用紙 計(枚)	0	5,000	8,000	1,500	15,000	0	0	0	11,500	0	5,000	0	46,000	53,000	55,000	83.6%
昨年使用実績		4,000		14,000	1,500	9,000	1,500	3,000	7,500	6,500	1,500	6,500	55,000			
										二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )			35,774	* 排出係数0.485(北海道電力H23年)		
										前年実績			42,691			

平成26年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	不必要な電気はこまめに消す	不要な電気は消した。事務所内LEDにした
水道	食器、雑巾洗いは水をためて行う	水をためて洗った
LPG	ガス量、温度共に小にする	ガス温度を小にした
灯油	ストーブの温度を上げ過ぎない	暖房の温度は20℃に設定した
コピー用紙	コピー用紙の裏面使用に徹する	コピー用紙の裏面使用に徹した

次年度以降の目標

	平成27年	平成28年	平成29年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	44,500	44,000	43,500	無駄な電気は消す。蛍光灯をLEDにする
水道(m <sup>3</sup> )	195	190	190	食器、雑巾洗いは水をためて行う
LPG(m <sup>3</sup> )	10.3	10.1	10	ガス量、温度共に小にする
灯油(ℓ)	5,100	5,000	5,000	ストーブの温度を上げ過ぎない
コピー用紙(枚)	52,000	51,000	50,000	コピー用紙の裏面使用に徹する

項目	単位	目標	26年実績	割合(%)
電気	kwh	45,000	35,706	-21
水道	m <sup>3</sup>	200	102	-49
LPG	m <sup>3</sup>	11	7	-33
灯油	ℓ	5,200	4,547	-13
コピー用紙	枚	53,000	46,000	-13



平成26年度 旭川出張所 環境活動報告

作成日: 4月10日  
作成者: 樋口

平26年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	26年目標	25年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	1,557	1,494	1,475	1,403	1,680	1,089	1,216	1,155	1,154	1,134	1,446	1,368	16,171	15,500	15,680	103.1%
昨年使用実績	1,474	1,571	1,500	1,572	1,757	1,051	1,103	1,027	1,020	932	1,369	1,304	15,680			
水道(m <sup>3</sup> )																
昨年使用実績																
灯油(ℓ)	530	576	911	245	194	196				200	90	178	3,120	3,700	3,910	79.8%
昨年使用実績	641	478	865	402	394	290		54			280	358	3,762			
コピー用紙 計(kg)	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7		31	23.9%
コピー用紙A3(枚)						500							500			
コピー用紙A4(枚)						500							500			
コピー用紙B4(枚)													0			
コピー用紙B5(枚)													0			
コピー用紙A5(枚)													0			
コピー用紙 計(枚)	0	0	0	0	0	1000	0	0	0	0	0	0	1,000	6,400	6,500	15.4%
二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )													29,085	* 排出係数0.485(北海道電力H23年)		
前年実績													32,454			

平成26年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	昼食時は消灯する。こまめに消す	人がいない時は消すようにした
水道		
灯油	ストーブの温度は上げないようにする	厚着をして上げないように心掛けた
コピー用紙	印刷ミスを減らすように留意する	印刷前に印刷プレビューで確認した

次年度以降の目標

	平成27年	平成28年	平成29年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	15,300	15,100	15,000	昼食時は消灯する。こまめに消す
水道(m <sup>3</sup> )				
灯油(ℓ)	3,600	3,550	3,500	ストーブの温度は上げないようにする
コピー用紙(枚)	6,300	6,200	6,200	印刷ミスを減らす。裏面使用をする

項目	単位	目標	26年実績	割合(%)
電気	kwh	15,500	16,171	4
灯油	ℓ	3,700	3,120	-16
コピー用紙	枚	6,400	1,000	-84

平成26年度 帯広 環境活動報告

作成日: 4月1日  
作成者: 井上

平成26年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	26年目標	25年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	774	696	648	466	476	424	479	440	426	423	593	570	6,415	6,400	6,459	99.3%
昨年使用実績	729	815	674	607	437	534	373	432	406	464	437	551	6,459			
水道(m <sup>3</sup> )	4	3	4	3	5	4	5	6	4	3	4	4	49	54	55	89.1%
昨年使用実績	4	4	3	4	7	7	5	4	4	4	5	4	55			
LPG(m <sup>3</sup> )	0.6	0.1	0.4	0.4	0.2	0.3	0.6	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	3.5	5.2	5.4	65%
昨年使用実績	0.7	0.7	0.7	0.3	0.6	0.4	0.8	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	5.4			
灯油(ℓ)	225	367	319	119						54	173	300	1,557	1,250	1,311	118.7%
昨年使用実績	289	353	72	256							117	225	1,312			
コピー用紙 計(kg)	0	0	0	0	0	40	0	17	0	0	0	0	57		87	66%
コピー用紙A3(枚)								2,500					2,500			
コピー用紙A4(枚)						5,000							5,000			
コピー用紙B4(枚)													0			
コピー用紙B5(枚)													0			
コピー用紙A5(枚)													0			
コピー用紙 計(枚)	0	0	0	0	0	5000	0	2500	0	0	0	0	7,500	13,200	13,500	55.6%
													二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	20,190	* 排出係数0.485(北海道電力H23年)	
													前年実績	19,352		

平成26年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	不要電気の消灯(夏場のエアコン設定28℃にする)	不要電気の消灯に徹した
水道	溜めすぎを心掛ける	溜めすぎの徹底
LPG	使用時のみの点火	使用時のみの点火
灯油	厚着に心がけ、出入り玄関をこまめに閉める	ストーブの温度設定は20℃
コピー用紙	裏紙再利用の徹底	裏面再利用の徹底

次年度以降の目標

	平成27年	平成28年	平成29年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	6,300	6,200	6,100	不要電気の消灯(夏場のエアコン設定28℃にする)
水道(m <sup>3</sup> )	53	52	52	溜めすぎを心掛ける
LPG(m <sup>3</sup> )	5.1	5	5	使用時のみの点火
灯油(ℓ)	1,200	1,150	1,100	厚着に心がけ、出入り玄関をこまめに閉める
コピー用紙(枚)	13,100	13,000	13,000	裏紙再利用の徹底

項目	単位	目標	26年実績	割合(%)
電気	kwh	6,400	6,415	0
水道	m <sup>3</sup>	54	49	-9
LPG	m <sup>3</sup>	5	4	-33
灯油	ℓ	1,250	1,557	25
コピー用紙	枚	13,200	7,500	-43

平成26年度 東北営業所 環境活動報告

作成日 2015/3/30

作成者 高橋ひとみ

平成26年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	26年目標	25年実績	比率(%)
電気(Kwh)	4,077	5,030	4,598	5,359	4,740	4,300	4,000	3,560	2,981	3,034	3,758	4,067	49,504	51,000	51,846	95
昨年使用実績	4,299	4,551	5,450	6,414	7,114	4,754	3,161	3,327	2,900	2,706	3,234	3,936	51,846	-2.9		
水道(m)	12	14	70	15	19	18	22	21	20	19	18	14	262	215	210	125
昨年使用実績	15	16	17	17	22	31	16	13	14	18	17	14	210	21.9		
LPG (m or kg選択)	226	326	315	184	48	29	91	190	87	62	92	238	1,887	1,941	1,897	99
昨年使用実績	215	360	294	255	158	16	25	76	125	37	100	236	1,897	-2.8		
灯油(ℓ)	380	377	287	0	0	0	0	0	170		205	445	1,864	2,102	1,836	102
昨年使用実績	251	649	305	0	0	0	0	0	0	0	280	351	1,836	-11.3		
コピー用紙計(kg)	0	0	61	0	0	61	0	0	0	61	0	20	204		204	100
コピー用紙A3(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
コピー用紙A4(枚)		0	15,000	0	0	15,000	0	0	0	15,000	0	5,000	50,000		50,000	100
コピー用紙B4(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
コピー用紙B5(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
コピー用紙計(枚)	0	0	15,000	0	0	15,000	0	0	0	15,000	0	5,000	50,000	50,000	50,000	100
昨年使用実績													0	0		
													二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	48385	48346	100.08067

\*排出係数: 0.455(東北電力 H23年)

平成26年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF 席を離れる時蛍光灯やPC画面をOFFにする	節電意識が所員全員に根付いており、普段から真面目に取り組んでいる結果が数字にも表れたようだ。
水道	定期的に上水道の漏水をチェックする 洗濯の水位を低めに設定する	3月は通常の月の4倍の使用量があった。市水道局から漏水の可能性は低いとの指摘から原因調査を行ったが原因究明には至らなかった。季節的なものなのか・注視していきたい。
LPG	エアコンの設定温度を厳守し、使用は控えめにする。 ウォームビズ・クールビズの徹底	経費削減で業者委託のエアコンフィルターの清掃・交換は数年見送っていたが、省エネを考慮し今後は数年に一度実施していきたいと思う。少しでも省エネにつながれば・・・
灯油	組替場で作業中、その場を離れる時はストーブを止める。	前年度と比較して使用量の増減はそれほどなく引き続き無理のない範囲での節約に努めたい。
コピー用紙	社内文書は両面印刷 FAX文書の裏面再利用 必要部数のみ印刷徹底 保管期間7年を過ぎた帳票類を裏紙として再利用	所内で無駄な紙の使用等は見受けられなかった。 数年前の色褪せた紙でも積極的に再利用しEA目標値をオーバーしないよう努めたい。

次年度以降の目標

	平成27年	平成28年	平成29年	次年度取組内容
電気(Kwh)	50,000	50,000	50,000	前年度の取組を継続
水道(m)	210	210	210	前年度の取組を継続
LPG (m or kg選択)	1,900	1,900	1,900	前年度の取組を継続
灯油(ℓ)	1,800	1,800	1,800	前年度の取組を継続
コピー用紙(枚)	49,000	49,000	49,000	前年度の取組を継続

平成26年度 関東(営) 環境活動報告

作成日: 2015/3/31

作成者: 熊倉唯好

平成26年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	26年目標	25年実績	前年度比(%)
電気(Kwh)	5,069	6,318	5,732	5,534	4,723	4,811	4,487	4,318	4,169	3,774	4,781	5,096	58,812	64,773	66776	88
昨年使用実績	5,110	6,103	6,564	7,037	5,725	4,894	4,844	5,082	4,583	4,455	5,761	6,618	66,776			
水道(m <sup>3</sup> )		85		156		50		42		43		89	465	263	271	172
昨年使用実績		41		40		48		50		43		49	271			
LPG(kg)	504	670	539	174	68	81	182	469	213	5	95	558	3,558	4,034	4159	86
昨年使用実績	541	717	670	307	88	24	244	375	408	35	197	553	4,159			
灯油(ℓ)	400	400										200	1,000	776	800	125
昨年使用実績		400										400	800			
コピー用紙計(kg)	75	31	54	53	36	40	28	23	12	53	24	19	447		482	93
コピー用紙A3(枚)	3,952	798	2,298	1,829	1,095	795	201	315	12	2,150	52	12	13,509			
コピー用紙A4(枚)	4,529	4,129	4,528	5,375	3,512	4,525	5,569	3,181	2,578	3,200	4,021	3,149	48,296			
コピー用紙B4(枚)	126	25	15	102	82	102	25	201	36	350	50	15	1,129			
コピー用紙B5(枚)	239	293	356	527	501	825	231	389	112	720	503	500	5,196			
コピー用紙計(枚)	8,846	5,245	7,197	7,833	5,190	6,247	6,026	4,086	2,738	6,420	4,626	3,676	68,130	72,069	70417	97
昨年使用実績	5,471	5,458	6,521	3,819	10,368	7,437	5,759	4,210	5,170	7,362	7,842	5163	74,298			
													二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	45,133		

\* 排出係数 0.455(東京電力 H23年)

平成26年度 取組んだ内容 及び 評価

	取組んだ内容	評価
電気	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す	所員全員が意識を持って行動出来た
水道	出しっぱなしの防止	4月に漏水があったが、確認が遅れてしまった。無駄な水は使用禁止が出来た
LPG	エアコン設定温度/暖房19度・冷房29度	設定温度の厳守に努めた
灯油	暖房用灯油の節約	無駄のない暖房に努めた
コピー用紙	極力、裏紙を利用する	ある程度意識を持って再利用出来た

次年度以降の目標

	平成27年	平成28年	平成29年	次年度取組内容
電気(Kwh)	2%削減	維持	維持	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す
水道(m <sup>3</sup> )	2%削減	維持	維持	出しっぱなしの防止
LPG(kg)	2%削減	維持	維持	エアコン設定温度/暖房19度・冷房29度
灯油(ℓ)	2%削減	維持	維持	暖房用灯油の節約
コピー用紙(枚)	2%削減	維持	維持	極力、裏紙を利用する

平成26年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	64,773	58,812	-9
水道	m <sup>3</sup>	263	465	77
LPG	kg	4,034	3,558	-12
灯油	ℓ	776	1,000	29
コピー用紙	枚	72,069	68,130	-5

平成26年度 長野営業所・物流センター 環境活動報告

作成日:26/12/29  
作成者:片岡

平成26年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気(Kwh)	3,132	3,050	2,834	2,822	3,046	2,107	2,057	3,132	1,842	2,010	2,490	2,520	31,042
前年比	119%	99%	106%	108%	104%	108%	115%	153%	98%	107%	101%	95%	109%
水道(m)		77		72		81		92		71		55	448
前年比		17%		19%		14%		35%		89%		68%	24%
LPG(kg)		544	658	414	158	54	180	372	238	118	18	156	2,910
前年比	0%	153%	121%	174%	91%	123%	188%	130%	94%	88%	64%	100%	106%
灯油(ℓ)	3450.2	4563.2	3267.3	716.9							1882.2	1546.6	15,426
前年比	92%	118%	175%	167%							74%	51%	97%
コピー用紙計(kg)	34	40	30	83	46	46	54	35	33	62	35	56	554
コピー用紙A3(枚)	0	0	0	0	500	0	0	500	0	1,500	500	500	3,500
コピー用紙A4(枚)	6,000	8,000	4,500	14,000	6,000	10,000	11,000	6,500	6,000	8,500	5,500	10,000	96,000
コピー用紙B4(枚)	0	1,000	0	500	0	0	0	0	500	0	0	0	2,000
コピー用紙B5(枚)	0	0	500	1,000	0	1,000	500	0	500	0	500	500	4,500
コピー用紙A5(枚)	5,000	500	5,000	10,000	7,500	1,000	4,000	1,000	2,000	3,500	2,000	3,500	45,000
コピー用紙計(枚)	11,000	9,500	10,000	25,500	14,000	12,000	15,500	8,000	9,000	13,500	8,500	14,500	151,000
前年比	129%	106%	69%	170%	62%	96%	89%	114%	300%	117%	41%	100%	97%
* 排出係数0.455(中部電力H20年) 二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )													76670
前年実績													81958

平成26年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF 省エネパトロールの実施	昨年に比べて消費が多くなってしまった。必要のない電気・電源のOFFを徹底する。
水道	漏水チェック雨水利用	漏水にあった昨年に比べ大幅に減ったが、目標が実情と離れていた。引き続き漏水チェックと雨水利用する。
LPG	エアコン設定温度の基準作成 ウォームビズ、クールビズの実施	昨年と比べて全体的に消費が多くなってしまった。ウォームビズ、クールビズを徹底する。
灯油	組替場の暖房の温度管理	寒さの影響か2月から4月にかけて昨年よりも使用量が多くなってしまった。
コピー用紙	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底	全体でみると使用量は減ったが、昨年を上回る月もあるため、引き続き裏紙使用・必要部数のみ出力を徹底する

次年度以降の目標

	平成27年	平成28年	平成29年	次年度取組内容
電気(Kwh)	31,030	31,020	31,010	必要の無い電気・電源のOFF 省エネパトロールの実施
水道(m)	448	446	444	漏水チェック 雨水利用
LPG(kg)	2,905	2,900	2,895	エアコン設定温度の基準作成 ウォームビズ、クールビズの実施
灯油(ℓ)	15,426	15,424	15,422	工場暖房の温度管理
コピー用紙(枚)	151,008	150,508	150,008	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底

平成26年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	28,608	31,042	7.8
水道	m	178	448	60.3
LPG	kg	2,752	2,910	5.4
灯油	ℓ	15,984	15,426	-3.6
コピー用紙	枚	156,000	151,000	-3.3

平成26年度 岡山営業所 環境活動報告

作成日: 2015/1/31

作成者: 野々上 宏一

平成26年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
電気(Kwh)	965	1024	1106	983	895	821	947	1093	887	762	952	1001	11436	
水道(m <sup>3</sup> )	19		14		13		16		17		19		98	
LPG(m <sup>3</sup> )	0.3	0.3	0.4	0.6	0.2	0.1	0.4	0	0.2	0.5	0.3	0.4	3.7	
灯油(ℓ)	348	140	179								165	161	993	
コピー用紙 計(kg)	20.4	27	0	13	0	61.2	0	3	7.6	20.4	20.4	0	173.4	
コピー用紙A3(枚)		500		1000									1500	
コピー用紙A4(枚)	5000	5000				15000				5000	5000		35000	
コピー用紙B4(枚)							500						500	
コピー用紙B5(枚)									2500				2500	
コピー用紙 計(枚)	5000	5500	0	1000	0	15000	0	500	2500	5000	5000	0	39500	
* 排出係数0.657(中国電力H23年)													二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	11850
													前年実績	12189

平成26年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	所内の電灯、電気器具のスイッチをこまめに切り、空調も外気に合わせて行う。	空調は、対応できたと思いますが、電器器具は、時々切忘れを目にします。注意していきたい。
水道	節水に心掛ける。	洗車機の取扱は出来てきたと思いますが、洗濯機の方の注意もしていきたい。
LPG	湯沸かし器、ガスレンジ等、使用頻度が低いので無駄の無いよう心掛ける。	継続したい。
灯油	エアコンとの併用の暖房に使いますが、戸の開閉等注意して、保温に心掛ける	設定温度を保てるように、換気扇等にも注意をしてきます。
コピー用紙	裏紙の使用。ペーパーレスに心掛ける。	定着の感じはあります。継続して、減らしていきます。

次年度以降の目標

	平成27年	平成28年	平成29年	次年度取組内容
電気(Kwh)	11000	10500	10000	継続して、エコアクションへの理解を深めてもらう
水道(m <sup>3</sup> )	96	94	92	機械や社有車の洗車を効率よく行う。
LPG(kg)	3.5	3.5	3.5	あまり使っていないので減らす目標が限界点に近いと思います。
灯油(ℓ)	950	930	900	ストーブもこまめに温度をチェックし、適正に使う
コピー用紙(枚)	36000	35000	33000	裏紙コピーも定着した感があるが、一層注意していく。

項目	単位	目標	26年実績	割合(%)
電気	kwh	12700	11436	-10
水道	m <sup>3</sup>	108	98	-9
LPG	m <sup>3</sup>	5	3.7	-26
灯油	ℓ	980	993	1
コピー用紙	枚	37000	39500	7

# 平成26年度 九州営業所 環境活動報告

作成日： 2015年4月16日  
作成者： 福永 美奈子

## 平成26年度(1月～12月) 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	昨年実績
電気(Kwh)	4,910	3,739	4,032	3,815	2,600	3,058	3,661	4,334	3,853	3,099	2,948	3,408	43,457	47,380
水道(m³)	27	30	25	24	27	22	52	26	26	29	24	14	326	571
コピー用紙(kg)	27	30	40	20	45	30	30	20	20	30	47	20	360	363
コピー用紙 A3(枚)	500				500						500		1,500	0
コピー用紙 A4(枚)		5,000	2,500	2,500	5,000	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	5,000	2,500	35,000	30,000
コピー用紙 A5(枚)	10,000	5,000	15,000	5,000	5,000	10,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000	5,000	95,000	110,000
コピー用紙 B4(枚)													0	0
コピー用紙 B5(枚)					2,500								2,500	2,500
コピー用紙 計	10,500	10,000	17,500	7,500	13,000	12,500	12,500	7,500	7,500	12,500	15,500	7,500	134,000	143,500
LPG(m³)	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	7
灯油(ℓ)	220	200										200	620	400
二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )													24,418	26,013

\* 排出係数0.525(九州電力 H23年)

## 平成26年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	不要な電気を消す エアコンの温度管理	目標達成
水道	漏水確認	目標達成
紙	裏紙再利用	目標達成
LPG	ガス利用を控える	目標達成
灯油	倉庫暖房の温度管理	目標達成したが、前年より増加。努力が必要

## 次年度以降の目標

	平成27年	平成28年	平成29年	次年度取組内容
電気(Kwh)	43,000	42,500	42,000	取組の継続
水道(m³)	320	315	310	取組の継続
紙(枚)	133,000	132,000	131,000	取組の継続
LPG(m³)	5	5	5	取組の継続
灯油(ℓ)	600	600	600	取組の継続

## 平成26年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	49,000	43,457	-11
水道	m³	330	326	-1
LPG	m³	14	5	-64
灯油	ℓ	950	620	-35
コピー用紙	枚	145,000	134,000	-8



平成26年度 南九州出張所 環境活動報告

作成日 平成27年6月15日  
 作成者 高木忠孝

平成26年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年実績
電気(Kwh)	1676	1733	1392	1105	1188	1387	1763	1894	1605	1069	1027	1746	17585	18339
水道(m <sup>3</sup> )		32		28		37		38		41		36	212	194
LPG(kg)	2.5	1.1	0.6	0.3	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	5.9	5.9
灯油(ℓ)		60											60	60
コピー用紙計(kg)	0	0	20.4	0	0	15.2	20.4	0	0	24	20.4	0	100	64
コピー用紙A3(枚)													0	500
コピー用紙A4(枚)			5000				5000				5000		15000	12500
コピー用紙A5(枚)													0	0
コピー用紙B4(枚)										4000			4000	1000
コピー用紙B5(枚)						5000							5000	0
コピー用紙計(枚)	0	0	5000	0	0	5000	5000	0	0	5044	5000	0	24000	14000
二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )													13747	12314

\*排出係数0.525(九州電力 H23年)

平成26年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い場所の電源OFF	営業担当の出張時のデスク周り電源OFF 倉庫電源OFF が出来た
水道	無駄水の利用減 漏水チェック	雨水の利用が出来た
LPG	無駄な使用を控える	必要な時のみ使用した
灯油	組替場の暖房について効率的にのみ使用する	朝と夕だけの使用で減った
コピー用紙	A4の裏紙再利用 メモ用紙として再活用	裏紙利用の定着 メモ用紙として再利用できたが目標が少な過ぎた

次年度以降の目標

	平成27年	平成28年	平成29年	次年度取組内容
電気(Kwh)	17585	17585	17585	取組の継続
水道(m <sup>3</sup> )	212	212	212	取組の継続
LPG(kg)	3.4	3.4	3.4	取組の継続
灯油(ℓ)	36	36	36	取組の継続
コピー用紙(枚)	24000	24000	24000	取組の継続

平成26年度

項目	単位	目標	実績	割合(%)
電気	kwh	18,339	17,585	-4.1%
水道	m <sup>3</sup>	194	212	9.3%
LPG	kg	6	3.4	-42.4%
灯油	ℓ	60	54.00	-10.0%
コピー用紙	枚	6,000	24,000	300.0%

## 代表者による全体の評価

本業である製品開発から述べていきます。水田の秋耕耘を中心にスピードカルチで荒起こしを行い、その後サーフロータリーで碎土整地を行う高速・省エネ作業機体系“速耕プレミアムコンビ”ですが、お客様からの反応も良く今回対象トラクタを広げラインアップを充実させました。国内農業は担い手の不足、高齢化、耕作放棄地の増大による構造的な問題、また農政の大転換に加え米価の低迷等厳しい状況にあります。この新しい省エネ型農業体系によって、農家の皆様の生産基盤強化に向けて貢献していきたいと思っております。また、原発事故の後遺症に苦しんでいる地域があります。その原因として飛散した放射能が除去できない事が大きな要因ですが、今回重機等が入っていくことの難しい急傾斜地に広がる牧草地において、簡易的に放射能汚染を低減させる無線傾斜地トラクタ用ロータリー**CGR1610M**を製品化しました。通常の乗用トラクタによる作業ではなく、無線トラクタに装着して行うので安全な作業を可能としました。私達は農家の復興が真の復興と位置付けております。このような開発（研究）は公的機関との共同になりますが、弊社の技術を活かせる状況があれば積極的に復興のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

環境負荷については、昨年度と比較して全般的に減っている傾向はあります。しかし創意工夫の結果というよりは、生産量の減少による所が大きいと感じております。今後、生産が増えても環境負荷が増えない仕組みについて、知恵を出し合い新たなシステムを構築して貰いたいと思っております。